

平成 16 年 度

江田島市一般会計・特別会計  
歳入歳出決算及び基金運用状況  
審 査 意 見 書

江田島市監査委員



江 監 第 24 号  
平成 17 年 9 月 15 日

江田島市長 曾 根 薫 様

江田島市監査委員 栗 本 勲 二  
江田島市監査委員 加 藤 隆 光

平成 16 年度江田島市一般会計・特別会計  
歳入歳出決算及び基金運用状況の審査意見  
について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により、審査に付された平成 16 年度江田島市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定められた書類並びに基金の運用状況に関する調書について審査を終了したので、次のとおり意見書を提出します。



## 目 次

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	2
1	決算の概況	2
	(1) はじめに	2
	(2) 決算収支の状況	2
2	一般会計	3
	(1) 一般会計の概要	3
	(2) 一般会計歳入	4
	(3) 一般会計歳出	6
3	特別会計	8
	(1) 国民健康保険特別会計	8
	(2) 老人保健特別会計	10
	(3) 介護保険特別会計	11
	(4) 住宅新築資金等貸付事業特別会計	12
	(5) 港湾管理特別会計	12
	(6) 漁港管理特別会計	13
	(7) 公共下水道事業特別会計	14
	(8) 農業集落排水事業特別会計	14
	(9) 地域開発事業特別会計	15
	(10) 教育振興奨学金特別会計	16
	(11) 振興事業特別会計	16
4	財産に関する調書	17
5	基金運用状況	18
6	むすび	20



# 平成16年度江田島市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び基金の運用状況審査意見

## 第1 審査の対象

### 1 各会計歳入歳出決算

- 平成16年度 江田島市一般会計
- 平成16年度 江田島市国民健康保険特別会計
- 平成16年度 江田島市老人保健特別会計
- 平成16年度 江田島市介護保険特別会計
- 平成16年度 江田島市住宅新築資金等貸付事業特別会計
- 平成16年度 江田島市港湾管理特別会計
- 平成16年度 江田島市漁港管理特別会計
- 平成16年度 江田島市公共下水道事業特別会計
- 平成16年度 江田島市農業集落排水事業特別会計
- 平成16年度 江田島市地域開発事業特別会計
- 平成16年度 江田島市教育振興奨学金特別会計
- 平成16年度 江田島市振興事業特別会計

### 2 附属書類

- 平成16年度 江田島市各会計歳入歳出決算事項別明細書
- 平成16年度 江田島市各会計実質収支に関する調書
- 平成16年度 江田島市財産に関する調書

## 第2 審査の期間

平成17年8月10日から平成17年8月31日

## 第3 審査の方法

この決算審査にあたり、市長から審査に付された決算報告書に基づき計数を確認するとともに予算の執行が合法的になされているか、また、その会計処理が適正確実に行われたかどうかを検証するため、関係職員の説明を求めるとと

もに、会計帳票及び関係証書類との照合等通常実施すべき審査手続を実施した。

#### 第4 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して調製されており、かつ、それらの計数は関係諸帳簿及び証書類と符合して正確であることを認めた。

また、予算の執行については、おおむね適正であると認めた。

審査の結果の詳細は、以下のとおりである。

##### 1 決算の概況

###### (1) はじめに

この決算は、平成16年11月1日、旧江田島町、能美町、沖美町及び大柿町が合併し、江田島市となつてから平成17年3月末日までの5か月の決算である。

その結果、旧町から債権、債務を江田島市が引き継いでおり、通常の決算とは異なつた決算となっている。

###### (2) 決算収支の状況

当年度の一般会計、特別会計を合わせた決算総額は、歳入が18,778,285千円、歳出が17,763,036千円で、歳入歳出差引（形式収支）は1,015,249千円の黒字となっている。

この内訳は、一般会計696,380千円の黒字、国民健康保険特別会計158,483千円の黒字、老人保健特別会計82,267千円の黒字、介護保険特別会計33,241千円の黒字、住宅新築資金等貸付事業特別会計521千円の黒字、港湾管理特別会計7,289千円の黒字、漁港管理特別会計4,042千円の黒字、公共下水道事業特別会計75千円の黒字、農業集落排水事業特別会計6千円の黒字、地域開発事業特別会計27,987千円の黒字、教育振興奨学金特別会計3,845千円の黒字、振興事業特別会計1,113千円の黒字となっている。



第1表 決算収支の状況

(単位：千円)

区 分	一 般 会 計	特 別 会 計	計
歳入総額 A	10,262,685	8,515,600	18,778,285
歳出総額 B	9,566,305	8,196,731	17,763,036
差引(形式収支) C	696,380	318,869	1,015,249
翌年度繰越財源 D	761,577	0	761,577
実質収支(C-D) E	△65,197	318,869	253,672
単年度収支	△65,197	318,869	253,672

## 2 一般会計

### (1) 一般会計の概要

当年度の決算額は、予算現額11,098,810千円に対して、歳入総額が10,262,685千円、歳出総額が9,566,305千円で形式収支は696,380千円の黒字となっている。

また、翌年度への繰越財源は761,577千円であるため、実質収支は65,197千円の赤字となっている。

当年度のみの収支を把握するための単年度収支も65,197千円の赤字となっている。

第2表 一般会計決算収支の状況

(単位：千円)

歳入総額 A	歳出総額 B	形式収支 (A-B) C	翌年度繰越 財源 D	実質収支 (C-D) E
10,262,685	9,566,305	696,380	761,577	△65,197

(2) 一般会計歳入

ア 歳入の概要

一般会計歳入の概要は、

予 算 現 額	11,098,810千円
調 定 額	10,789,277千円
収 入 済 額	10,262,685千円
不 納 欠 損 額	6,504千円
収 入 未 済 額	520,088千円

収入済額を予算現額と比較すると836,125千円の減少、調定額と比較すると526,592千円の減少となっており調定額に対する収入済額の割合（収入率）は95.1%である。

歳入決算額の主なものは、

市 税	676,941千円	(構成比 6.6%)
地方交付税	2,232,567千円	(構成比 21.8%)
国庫支出金	813,202千円	(構成比 7.9%)
県支出金	954,482千円	(構成比 9.3%)
繰入金	1,433,403千円	(構成比 14.0%)
諸収入	752,559千円	(構成比 7.3%)
市債	2,670,900千円	(構成比 26.0%)

第3表 歳入の状況

(単位:千円・%)

区 分	予算現額 A	調 定 額 B	収入済額 C	不 納 欠損額	収 入 未済額	C/A	C/B	C の 構成比
1 市 税	657,100	1,026,926	676,941	6,059	343,926	103.0	65.9	6.6
2 地方譲与税	106,400	114,901	114,901	0	0	108.0	100.0	1.1
3 利子割交付金	17,500	19,771	19,771	0	0	113.0	100.0	0.2
4 配当割交付金	1,400	2,204	2,204	0	0	157.4	100.0	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	540	4,409	4,409	0	0	816.5	100.0	0.1
6 地方消費税交付金	104,000	117,923	117,923	0	0	113.4	100.0	1.1
7 自動車取得税交付金	39,000	47,067	47,067	0	0	120.7	100.0	0.5
8 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	225,616	225,616	225,616	0	0	100.0	100.0	2.2
9 地方特例交付金	1	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
10 地方交付税	2,232,567	2,232,567	2,232,567	0	0	100.0	100.0	21.8
11 交通安全対策特別交付金	1,380	1,261	1,261	0	0	91.4	100.0	0.0
12 分担金及び負担金	66,739	106,493	61,457	445	44,591	92.1	57.7	0.6
13 使用料及び手数料	124,364	244,450	119,163	0	125,287	95.8	48.7	1.2
14 国庫支出金	1,243,175	813,202	813,202	0	0	65.4	100.0	7.9
15 県支出金	977,046	954,482	954,482	0	0	97.7	100.0	9.3
16 財産収入	133,677	15,265	14,621	0	644	10.9	95.8	0.1
17 寄 附 金	844	238	238	0	0	28.2	100.0	0.0
18 繰 入 金	1,446,422	1,433,403	1,433,403	0	0	99.1	100.0	14.0
19 繰 越 金	1	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
20 諸 収 入	616,138	758,199	752,559	0	5,640	122.1	99.3	7.3
21 市 債	3,104,900	2,670,900	2,670,900	0	0	86.0	100.0	26.0
歳 入 合 計	11,098,810	10,789,277	10,262,685	6,504	520,088	92.5	95.1	100.0

(3) 一般会計歳出

ア 歳出の概要

一般会計歳出の概要は、

予 算 現 額	11,098,810	千円
支 出 済 額	9,566,305	千円
不 用 額	770,928	千円

予算現額に対する支出済額の割合（執行率）は86.2%である。

歳出決算額の主なものは、

総 務 費	1,352,143	千円	(構成比14.1%)
民 生 費	1,822,070	千円	(構成比19.1%)
農林水産業費	874,385	千円	(構成比 9.1%)
土 木 費	1,342,891	千円	(構成比14.0%)
公 債 費	1,691,421	千円	(構成比17.7%)
諸 支 出 金	781,124	千円	(構成比 8.2%)

第4表 歳出の状況

(単位:千円・%)

区 分	予 算 現 額 A	支 出 済 額 B	不 用 額	B/A	B の 構成比
1 議 会 費	105,696	103,997	1,699	98.4	1.1
2 総 務 費	1,460,042	1,352,143	107,899	92.6	14.1
3 民 生 費	1,979,164	1,822,070	157,094	92.1	19.1
4 衛 生 費	385,656	348,407	37,249	90.3	3.6
5 労 働 費	2,761	1,342	1,419	48.6	0.1
6 農林水産業費	993,397	874,385	61,082	88.0	9.1
7 商 工 費	49,291	42,725	6,566	86.7	0.4
8 土 木 費	1,479,415	1,342,891	94,751	90.8	14.0
9 消 防 費	464,252	426,463	37,789	91.9	4.5
10 教 育 費	1,419,357	556,263	231,220	39.2	5.8
11 災害復旧費	283,759	223,074	30,685	78.6	2.3
12 公 債 費	1,692,646	1,691,421	1,225	99.9	17.7
13 諸支出金	781,562	781,124	438	99.9	8.2
14 予 備 費	1,812	0	1,812	0.0	0.0
歳 出 合 計	11,098,810	9,566,305	770,928	86.2	100.0

### 3 特別会計

#### (1) 国民健康保険特別会計

当年度の決算額は、予算現額2,230,868千円に対して、歳入総額が2,178,088千円、歳出総額が2,019,605千円で、形式収支は158,483千円の黒字となっている。

歳入の主なものは、国庫支出金が885,481千円（構成比40.6%）、国民健康保険税が586,003千円（構成比26.9%）、療養給付費等交付金が380,509千円（構成比17.5%）、繰入金が210,330千円（構成比9.7%）である。

歳出の主なものは、保険給付費が1,187,323千円（構成比58.8%）、諸支出金が390,204千円（構成比19.3%）、老人保健拠出金が332,434千円（構成比16.5%）である。

第5表 国民健康保険特別会計決算収支の状況

（単位：千円）

歳入総額 A	歳出総額 B	形式収支 (A-B) C	翌年度繰越 財源 D	実質収支 (C-D) E
2,178,088	2,019,605	158,483	0	158,483

第6表 歳入の状況

(単位:千円・%)

区 分	予算現額 A	調 定 額 B	収入済額 C	不 納 欠損額	収 入 未済額	C/A	C/B	C の 構成比
1 国民健康保険税	622,965	1,026,889	586,003	14,145	426,741	94.1	57.1	26.9
2 使用料及び手数料	70	148	148	0	0	211.4	100.0	0.0
3 国庫支出金	871,446	885,481	885,481	0	0	101.6	100.0	40.6
4 県支出金	9,732	5,745	5,745	0	0	59.0	100.0	0.3
5 療養給付費等交付金	419,198	380,509	380,509	0	0	90.8	100.0	17.5
6 共同事業交付金	21,230	41,430	41,430	0	0	195.1	100.0	1.9
7 財産収入	160	299	299	0	0	186.9	100.0	0.0
8 繰 入 金	217,364	210,330	210,330	0	0	96.8	100.0	9.7
9 繰 越 金	2	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
10 諸 収 入	68,701	68,143	68,143	0	0	99.2	100.0	3.1
歳 入 合 計	2,230,868	2,618,974	2,178,088	14,145	426,741	97.6	83.2	100.0

第7表 歳出の状況

(単位:千円・%)

区 分	予 算 現 額 A	支 出 済 額 B	不 用 額	B/A	B の 構成比
1 総 務 費	30,838	22,577	8,261	73.2	1.1
2 保険給付費	1,284,522	1,187,323	97,199	92.4	58.8
3 老人保健拠出金	332,440	332,434	6	100.0	16.5
4 介護給付費	63,560	63,560	0	100.0	3.1
5 共同事業拠出金	39,000	22,480	16,520	57.6	1.1
6 保健事業費	1,564	545	1,019	34.8	0.1
7 基金積立金	342	299	43	87.4	0.0
8 公 債 費	400	183	217	45.8	0.0
9 諸 支 出 金	390,703	390,204	499	99.9	19.3
10 予 備 費	87,499	0	87,499	0.0	0.0
歳 出 合 計	2,230,868	2,019,605	211,263	90.5	100.0

(2) 老人保健特別会計

当年度の決算額は、予算現額2,780,662千円に対して、歳入総額が2,739,107千円、歳出総額が2,656,840千円で、形式収支は82,267千円の黒字となっている。

歳入の主なものは、支払基金交付金が1,569,141千円(構成比57.3%)、国庫支出金が655,381千円(構成比23.9%)、繰入金が286,782千円(構成比10.5%)、県支出金が113,928千円(構成比4.2%)である。

歳出の主なものは、医療諸費が2,603,874千円(構成比98.0%)、諸支出金が47,927千円(構成比1.8%)である。



第8表 老人保健特別会計決算収支の状況

(単位：千円)

歳入総額 A	歳出総額 B	形式収支 (A-B) C	翌年度繰越 財源 D	実質収支 (C-D) E
2,739,107	2,656,840	82,267	0	82,267

(3) 介護保険特別会計

当年度の決算額は、予算現額1,478,925千円に対して、歳入総額が1,469,639千円、歳出総額が1,436,398千円で、形式収支は33,241千円の黒字となっている。

歳入の主なものは、支払基金交付金が387,607千円(構成比26.4%)、国庫支出金が341,484千円(構成比23.2%)、保険料が201,167千円(構成比13.7%)、繰入金が190,194千円(構成比12.9%)、諸収入が187,519千円(構成比12.8%)である。

歳出の主なものは、保険給付費が1,298,838千円(構成比90.4%)、基金積立金が70,000千円(構成比4.9%)である。

第9表 介護保険特別会計決算収支の状況

(単位：千円)

歳入総額 A	歳出総額 B	形式収支 (A-B) C	翌年度繰越 財源 D	実質収支 (C-D) E
1,469,639	1,436,398	33,241	0	33,241

#### (4) 住宅新築資金等貸付事業特別会計

当年度の決算額は、予算現額91,933千円に対して、歳入総額が75,246千円、歳出総額が74,725千円で、形式収支は521千円の黒字となっている。

歳入の主なものは、諸収入が62,120千円（構成比82.6%）、県支出金が13,126千円（構成比17.4%）である。

歳出の主なものは、公債費が45,463千円（構成比60.8%）、住宅新築資金等貸付事業費が25,562千円（構成比34.2%）である。

第10表 住宅新築資金等貸付事業特別会計決算収支の状況

(単位：千円)

歳入総額 A	歳出総額 B	形式収支 (A-B) C	翌年度繰越 財源 D	実質収支 (C-D) E
75,246	74,725	521	0	521

#### (5) 港湾管理特別会計

当年度の決算額は、予算現額27,010千円に対して、歳入総額が28,843千円、歳出総額が21,554千円で、形式収支は7,289千円の黒字となっている。

歳入の主なものは、使用料及び手数料が22,670千円（構成比78.6%）、諸収入が6,173千円（構成比21.4%）である。

歳出は、港湾管理費が21,554千円である。

第11表 港湾管理特別会計決算収支の状況

(単位：千円)

歳入総額 A	歳出総額 B	形式収支 (A-B) C	翌年度繰越 財源 D	実質収支 (C-D) E
28,843	21,554	7,289	0	7,289

(6) 漁港管理特別会計

当年度の決算額は、予算現額6,988千円に対して、歳入総額が6,743千円、歳出総額が2,701千円で、形式収支は4,042千円の黒字となっている。

歳入の主なものは、諸収入が5,693千円（構成比84.4%）、使用料及び手数料が1,050千円（構成比15.6%）である。

歳出は、漁港管理費が2,701千円である。

第12表 漁港管理特別会計決算収支の状況

(単位：千円)

歳入総額 A	歳出総額 B	形式収支 (A-B) C	翌年度繰越 財源 D	実質収支 (C-D) E
6,743	2,701	4,042	0	4,042

(7) 公共下水道事業特別会計

当年度の決算額は、予算現額1,246,798千円に対して、歳入総額が1,068,344千円、歳出総額が1,068,269千円で、形式収支は75千円の黒字となっている。

歳入の主なものは、国庫支出金が382,000千円（構成比35.8%）、繰入金が360,031千円（構成比33.7%）、市債が279,600千円（構成比26.2%）、使用料及び手数料が32,091千円（構成比3.0%）である。

歳出の主なものは、事業費が752,952千円（構成比70.5%）、諸支出金が156,730千円（構成比14.7%）、公債費が104,570千円（構成比9.8%）である。

第13表 公共下水道事業特別会計決算収支の状況

(単位：千円)

歳入総額 A	歳出総額 B	形式収支 (A-B) C	翌年度繰越 財源 D	実質収支 (C-D) E
1,068,344	1,068,269	75	0	75

(8) 農業集落排水事業特別会計

当年度の決算額は、予算現額515,502千円に対して、歳入総額が491,234千円、歳出総額が491,228千円で、形式収支は6千円の黒字となっている。

歳入の主なものは、県支出金が268,700千円（構成比54.7%）、市債が111,500千円（構成比22.7%）、諸収入が55,509千円（構成比11.3%）、繰入金が48,710千円（構成比9.9%）である。

歳出の主なものは、事業費が435,271千円（構成比88.6%）、公債費が37,700千円（構成比7.7%）である。

第14表 農業集落排水事業特別会計決算収支の状況

(単位：千円)

歳入総額 A	歳出総額 B	形式収支 (A-B) C	翌年度繰越 財源 D	実質収支 (C-D) E
491,234	491,228	6	0	6

(9) 地域開発事業特別会計

当年度の決算額は、予算現額449,207千円に対して、歳入総額が448,208千円、歳出総額が420,221千円で、形式収支は27,987千円の黒字となっている。

歳入の主なものは、財産収入が268,529千円（構成比59.9%）、繰入金が89,290千円（構成比19.9%）、市債が83,300千円（構成比18.6%）である。

歳出の主なものは、公債費が329,268千円（構成比78.4%）、地域開発事業費が54,753千円（構成比13.0%）である。

第15表 地域開発事業特別会計決算収支の状況

(単位：千円)

歳入総額 A	歳出総額 B	形式収支 (A-B) C	翌年度繰越 財源 D	実質収支 (C-D) E
448,208	420,221	27,987	0	27,987

(10) 教育振興奨学金特別会計

当年度の決算額は、予算現額8,510千円に対して、歳入総額が9,035千円、歳出総額が5,190千円で、形式収支は3,845千円の黒字となっている。

歳入の主なものは、諸収入が8,880千円（構成比98.3%）である。

歳出は、貸付金が5,190千円である。

第16表 教育振興奨学金特別会計決算収支の状況

(単位：千円)

歳入総額 A	歳出総額 B	形式収支 (A-B) C	翌年度繰越 財源 D	実質収支 (C-D) E
9,035	5,190	3,845	0	3,845

(11) 振興事業特別会計

当年度の決算額は、予算現額100千円に対して、歳入総額が1,113千円、歳出総額が0円で、形式収支は1,113千円の黒字となっている。

歳入は、諸収入が1,113千円である。

歳出は、0円である。

第17表 振興事業特別会計決算収支の状況

(単位：千円)

歳入総額 A	歳出総額 B	形式収支 (A-B) C	翌年度繰越 財源 D	実質収支 (C-D) E
1,113	0	1,113	0	1,113

#### 4 財産に関する調書

##### (1) 基金

第18表 基金の状況

(単位：円)

区 分	平成16年11月1日 現 在 高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
財政調整基金	1,654,359,369	△885,258,215	769,101,154
減債基金	959,389,495	56,663	959,446,158
ふるさと創生基金	939,528,971	△468,435,942	471,093,029
国民健康保険財政調整基金	724,313,298	299,224	724,612,522
ふるさと水と土の保全基金	42,328,660	6,315	42,334,975
スポーツ振興基金	10,326,785	102	10,326,887
山林緑化推進基金	1,268,457	383	1,268,840
切串新開樋門施設等整備基金	10,222,304	3,075	10,225,379
介護給付費準備基金	46,992,668	70,000,407	116,993,075
黒神島環境保全基金	8,969,783	0	8,969,783
牡蛎殻海中堆積場公害防止基金	3,048,011	466,013	3,514,024
灘尾弘吉先生顕彰像等維持管理基金	45,851,401	457	45,851,858
地域福祉基金	537,901,962	△51,427,619	486,474,343
小用地区開発事業基金	117,267,683	31,330	117,299,013
ふるさと市町村圏振興基金	502,447,992	125,829	502,573,821
土地開発基金	984,552,169	88,178	984,640,347
奨学基金	185,675,230	367	185,675,597
県収入証紙購入基金	330,000	0	330,000
合 計	6,774,774,238	△1,334,043,433	5,440,730,805

(2) 公有財産（土地及び建物）

第19表 公有財産の状況

(単位：㎡)

区 分	土 地 面 積	建 物 面 積
行政財産合計	1,238,662	221,727
普通財産合計	6,199,346	2,677
合 計	7,438,008	224,404

5 基金運用状況

特定の目的のために、定額の資金を運用するために設置された基金の運用状況を示すものであり、その概要は次のとおりである。

(1) 土地開発基金

第20表 土地開発基金の状況

(単位：円)

区 分	平成16年11月1日 現在高	決 算 年 度 中 の 増 減 高			決算年度末 現在高
		増	減	計	
貸付金	28,846,399	179,200,000	12,406,399	166,793,601	195,640,000
土 地	693,501,117	13,164,000	0	13,164,000	706,665,117
現 金	262,204,653	12,494,577	192,364,000	△179,869,423	82,335,230
合 計	984,552,169	204,858,577	204,770,399	88,178	984,640,347
土地(面積)	211,580 ㎡	2,194 ㎡		2,194 ㎡	213,774 ㎡

当年度末は984,640,347円で平成16年11月1日現在と比較して88,178円増加している。これは、貸付金179,200,000円、貸付金償還金12,406,399円、基金利子88,178円の積み立て及び現金13,164,000円を取り崩して土地を取得したためで、土地面積が2,194㎡増加し213,774㎡になった。



(2) 奨学基金

第 2 1 表 奨学基金の状況

(単位：円)

区 分	平成16年11月1日	決 算 年 度 中 の 増 減 高			決算年度末
	現 在 高	増	減	計	現 在 高
貸付金	153,713,027	3,600,000	8,928,230	△5,328,230	148,384,797
現 金	31,962,203	8,928,597	3,600,000	5,328,597	37,290,800
合 計	185,675,230	5,328,597	5,328,230	367	185,675,597

当年度末は185,675,597円で平成16年11月1日現在と比較して367円増加している。これは、新規貸付3,600,000円、貸付金償還金8,928,230円及び基金利子367円の積み立てによるものである。

(3) 県収入証紙購入基金

第 2 2 表 県収入証紙購入基金の状況

(単位：円)

平成16年11月1日現在高		決算年度中	決算年度中	決算年度末現在高	
現 金	証 紙	印紙購入額	印紙売捌額	現 金	証 紙
181,840	148,160	541,000	401,590	42,430	287,570

## 6 むすび

本市は、少子高齢化、高度情報化、市民ニーズの多様化、財政環境の悪化等々、昨今の社会情勢の急速な変化を背景に新しい地方のあり方が問われる中で、先進的に市町村合併に取り組み、平成16年11月1日、旧江田島町、能美町、沖美町及び大柿町が対等合併し、江田島市が誕生しました。

また、市民と行政がそれぞれの役割と責任を担い、協働しながら新しいまちづくりを進めるため、江田島市第一次総合計画を策定中であり、新市建設計画を踏まえながら計画的に実施される場所である。

さて、本市の平成16年度の決算であるが、会計期間5か月の変則的な決算である。

そのため、前年度との比較分析は困難である。債権、債務については、旧町から江田島市に引き継がれている。

歳入面においては、現下の経済情勢を反映して、税収の伸びは期待できず加えて、市税、負担金、使用料等の収納率が低下しており、厳しい財政状況となっている。

新市としては、今後、収入未済の皆無を目標として、徴収体制の確立を図り滞納を続けるものに対しては厳正に対処され、さらに旧町から引き継いだ滞納額を解消すべく市職員の一層の徴収努力を要望する。

また、歳出面においては、行政経費の節減を図り、計画的、合理的な行政運営と健全な財政運営に努められ、市民福祉の増進に寄与されるよう要望する。